



奥出雲町に 小水力発電は

内田正男 議員

町長 小水力発電の導入を進めたいと思っております



問 奥出雲町で小規模水力発電、小水力発電の箇所適する地形は。
答 今後は財源にも留意しながら小水力発電の導入を進めてまいりたいと考えておりますが、安定した水量の確保ができることが第一条件です。県も24年度から導入適地調査を大々的に開始すると言っており、この県事業にも町として参画いたし、早期の導入について調査検討を進めたいと思っております。

上阿井地区に以前農協が経営した、小規模発

電の見直しの考えは。

答 昨年も検討メンバーと一緒に現地をつぶさに視察をし、水路の問題等はありませんが、昔の物を復活させるのは相当困難では。新たに考えた方が、可能性が高いという印象を持っております。

問 奥出雲町の民意にも賛否があります。町民の生活に直結する消費税の引き上げ、消費税と社会保障の一体化などは。
答 国家財政の現状を見るならば、将来的には消費税の引き上げは避けられないという印象を持っておりますが、歳出削減の努力や国民への丁寧な説明をされるのが前提であり、今の議論がどこまで国民の皆様を理解をして頂けるのか、正直なところ危惧もしております。

問 奥出雲町の農業は主産業です。一般農家の水稲収入は採算が合っていない、TPP貿易問題は。
答 国民生活に与える影響や国内経済の保護対策が十分に指示されており

ません。国に対して、慎重に対応すべきであることや農業に十分な配慮をすることなど、引き続き全国町村会などの関係団体と連携し強く求めてまいります。

問 奥出雲町はTPPに関し24年度の農業振興策は。
答 農産物価格の下落が農村地域へどのような影響を与えるかも不透明な状況の中では、TPPを見据えた農業振興策を立案することは極めて困難であります。国内外問わず競争に打ち勝つていくよう、奥出雲ブランドの確立を図ることは、TPPの問題だけではなく新年度におきましてもそれぞれの分野で努力をします。

問 奥出雲町の公の事業で合併後、借地の解約と新規の借地契約は。
答 森長財産管理室長
解約件数は14件で約170万円です、新規契約した物が11件で95万円です。
近年、仁多、横田地域の、借地の件数と年間

の借地料金は。

答 森長財産管理室長
仁多地域の件数145件で約910万円です。横田地域は104件で約1千530万円です。

問 斐乃上温泉の借地面積と年間の借地料、また町で取得の努力は。
答 尾方地域振興課長
敷地面積、斐乃上荘部分とヴィラ船通山で5千800㎡です。年間借地料57万5千円です。契約改定のたび、買い上げと価格交渉は難渋しております。

問 布勢公民館、布勢幼児園は高台です。進入路には毎年の積雪、凍結に悩んでおり何か対策は。
答 地形的に勾配を修正改良工事をするのは困難です。冬期の通行確保については通園時間に間に合う、また給食車の運行に支障が生じないよう一次路線として今後も引き続き丁寧な除雪作業を委託先の業者にお願ひし、凍結防止剤の配置など危険性の低減に向けた対応いたします。

の借地料金は。